

第1章 理念・目的

1. 現状の説明

(1) 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。

【評価の視点】

- ・理念・目的の明確化
- ・実績や資源からみた理念・目的の適切性
- ・個性化への対応

＜1＞ 大学全体

1) 本学の学是は「仁」であり、人在りて我在り、他を思いやり、慈しむ心である。理念は、「不断前進」の精神であり、現状に満足せず、常に高い目標を目指して努力を続ける姿勢のことである。

(資料1-1 順天堂ホームページ 「本学の学是と理念」)

(資料1-2 順天堂大学 総合パンフレット)

(資料1-3 スポーツ健康科学部 パンフレット)

(資料1-4 医療看護学部 パンフレット)

(資料1-5 保健看護学部 パンフレット)

(資料1-6 国際教養学部 パンフレット)

(資料1-7 大学院スポーツ健康科学研究科 パンフレット)

(資料1-8 大学院医療看護学研究科 パンフレット)

2) 学部においては、教育基本法及び学校教育法に基づき、医学、スポーツ健康科学、看護学及び国際教養学の理論と実際を教授・研究するとともに、全人教育をもって心身共に健全な公民を育成することを目的としており、科学及び技術の水準を高め文化の進展に寄与し、地域社会や国際社会の発展と人類の福祉に貢献することをその使命としている。

(資料1-9 順天堂大学学則 第1条)

3) 大学院においては、教育基本法及び学校教育法に基づき、医学、スポーツ健康科学及び医療看護学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて、文化の進展に寄与することを目的及び使命としている。

(資料1-10 順天堂大学大学院学則 第1条)

4) 各学部・学科の人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的及び教育目標については、「順天堂大学学則第1条第2項関係 別記」にて以下のとおり定めている。大学院研究科については、各研究科規程にてそれぞれ以下のとおり定めている。

＜2＞ 医学部

1) 本学部では、人類の健康・福祉に寄与できる専門的な知識、技術を身につけ、「科学者」の視点を持ちつつ、感性豊かな教養人としての医師・医学者を養成することを目的としている。そのために、以下の目標を定めている。

(資料1-9 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記)

- (1) 科学的根拠に基づいた医学・医療を行うための体系的な知識と確実な技術を身につける。
- (2) 不断前進する医学・医療を生涯にわたってアクティブに自学自習する態度・習慣を身につける。
- (3) 常に相手の立場に立って物事を考え、高い倫理観を持ち、人間として、医師・医学者として他を慮り、慈しむ心、即ち学是「仁」の心を涵養する。
- (4) チーム医療・研究を円滑に遂行できる能力と習慣を身につける。
- (5) 国際社会に役立ち、未来を切り開く人間性溢れる豊かな教養を培う。

第1章 理念・目的

〈3〉 スポーツ健康科学部

1) 本学部では、学是である「仁」の精神に基づき、スポーツと健康に関連する専門的知識と技能の修得及びその実践的な応用力の涵養を図り、人間の健康維持・増進・回復に寄与できる医科学的素養と人文社会科学的教養を兼ね備えた創造性豊かな人材を育成することを目的としている。そのために、学科ごとに以下の目標を定めている。

(資料1-9 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記)

- | |
|---|
| <p>(1) スポーツ科学科では、アスリートの競技力向上及び人々の健康・体力づくりに適切な運動プログラムの開発、系統的・段階的な指導技術に必要な基礎知識と技能を修得する。</p> <p>(2) スポーツマネジメント学科では、スポーツを客観的・多角的に分析する基礎知識と習慣を身につけ、スポーツをコアとして国際的に通用する実用性・創造性の高いマネジメント力を修得する。</p> <p>(3) 健康学科では、健康に関わる科学的な基礎知識と実用性に富んだ技能を身につけ、障害者(児)を含む人々の健康づくりと健康支援に必要な基礎知識並びに技能を修得する。</p> |
|---|

〈4〉 医療看護学部

1) 本学部では、学是である「仁」の精神に基づき、安心・安全で質の高い看護を提供し、更に高度先進医療の一翼を担うことができる看護職者の育成を目的としている。そのために、以下の目標を定めている。

(資料1-9 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記)

- | |
|---|
| <p>(1) 看護に関する確実な知識・技術を身につけ、心身を癒す質の高い看護が実践できる看護実践能力を修得する。</p> <p>(2) 次世代の看護職者として国際的に通用し、広く保健・医療・福祉の分野において活躍できる能力を修得する。</p> |
|---|

〈5〉 保健看護学部

1) 本学部では、学是である「仁」の精神に基づき、チーム医療の一翼を担う優れた看護実践力をもつ心温かな看護職者及び地域の人々の保健衛生・健康保全に貢献する国際性豊かな看護職者を養成することを目的としている。そのために、以下の目標を定めている。

(資料1-9 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記)

- | |
|---|
| <p>(1) 科学的根拠に基づいた看護基礎能力を身につけ、心身を癒す看護実践能力を修得する。</p> <p>(2) 進歩・変化著しい保健・医療・福祉分野を総合的に理解し、創意工夫する態度・習慣を身につける。</p> <p>(3) 自ら健康維持増進に留意し行動的に学習し、国際的に活躍できる素養を身につける。</p> |
|---|

〈6〉 国際教養学部

1) 本学部では、学是である「仁」の精神に基づき、グローバル化時代の国際社会に貢献できる能力の開発を目指し、グローバル化時代の時代にふさわしい国際教養を備え、多角的な視点を養い、論理的な思考力と分析力、実行力を身に付け、強い自立心と倫理観、問題解決能力を身に付けたグローバル市民を育成することを目的としている。そのために、以下の目標を定めている。

(資料1-9 順天堂大学学則 第1条第2項関係 別記)

- | |
|--|
| <p>(1) グローバル市民として英語等外国語によるコミュニケーション能力を修得する。</p> <p>(2) 国際社会で幅広く活躍するベースとなる国際教養を理解し、身に付ける。</p> <p>(3) 国際社会の課題解決に取り組む意欲に溢れ、人間味豊かな人格を培う。</p> |
|--|

〈7〉 大学院医学研究科

1) 修士課程の人材養成目的は、次のとおり定めている。

(資料1-11 順天堂大学大学院医学研究科規程 第1条第3項)

修士課程は、医学以外の教育を受けた学生を受け入れ、医学・生命科学・医療学の知識を系統的に修得できるカリキュラムのもと、創造的で幅広い視野を持ち、生涯にわたって医科学と向き合う姿勢、能力を涵養する教育、研究の場である。

本学の学是「仁」の精神—常に相手の立場にたつて物事を考え、他を慮り、慈しむ心を兼ね備えた“志高き医学・医療の研究者・高度専門職業人”を育成することを人材養成目的とする。

2) 博士課程の人材養成目的は、次のとおり定めている。

(資料1-11 順天堂大学大学院医学研究科規程 第1条第2項)

博士課程は、医学を人間に関する総合科学と位置づけ、不断前進する医学的知識・技術を理解、実践し、更にはこれを自ら更新する能力を修学する教育・研究の場である。

そして、常に相手の立場にたつて物事を考え、人間として、あるいは医学者として他を慮り、慈しむ心、これ即ち学是、「仁」の心を兼ね備えた医学・医療の指導者・実践者を国際的レベルで育成する教育研究の拠点である。

このような基本理念に立脚して、生涯にわたって医学と向き合う姿勢をもった基礎医学者と臨床医学者、あるいはその両方を兼ね備えた Physician—Scientist、究極的には心身共に病める人々を救済する“志高き医師・医学者”を育成することを人材養成目的とする。

〈8〉 大学院スポーツ健康科学研究科

1) 本研究科では、学是「仁」と「不断前進」の理念のもと、スポーツと健康の医科学的研究を行い、人々の健康で文化的な生活形成に貢献できる実践的かつ創造的な人材を育成することを目的としている。

(資料1-12 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科規程 第1条第2項)

2) 博士前期課程(修士課程)の人材養成目的は、次のとおり定めている。

スポーツの科学的基礎、社会科学的価値並びにヘルスプロモーションの考究に関わる学習と研究を通して、その成果を人々の健康や体力の維持・向上及びスポーツの社会的発展に体系的に応用できる実践的・理論的根拠を身につけた人材の育成を目的とする。

3) 博士後期課程(博士課程)の人材養成目的は、次のとおり定めている。

スポーツと健康の科学に関する知の修得と創造に貢献する研究と教育を通して、独創的かつ先端的な研究を独立して行うことができ、その成果をスポーツ健康科学の発展に応用できる高度な専門家・指導者の育成を目的とする。

〈9〉 大学院医療看護学研究科

1) 本研究科では、学是である「仁」の精神に基づき、国内外を問わず多様な場で社会貢献できる高度な看護実践能力をもち、看護学のあり方を探求することのできる人材の養成を目的としている。

(資料1-13 順天堂大学大学院医療看護学研究科規程 第1条第2項)

2) 博士前期課程(修士課程)の人材養成目的は、次のとおり定めている。

博士前期課程では、環境の変化に対応でき科学的根拠に基づいた高度な看護実践能力を発揮できる看護専門職者、看護学の成立基盤を基に看護学分野の新たな方法論の開発や展開ができる教育者・研究者を志向する人材を育成する。

3) 博士後期課程(博士課程)の人材養成目的は、次のとおり定めている。

第1章 理念・目的

博士後期課程では、看護学を探究できる能力を有し、研究成果に基づいた質の高い医療・看護を人々に提供できる判断力と実践能力を身に付けた看護専門職者の教育を行うための教育者・研究者及び科学的視点を持った高度実践看護職者を育成する。

(2) 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。

【評価の視点】

- ・ 構成員に対する周知方法と有効性
- ・ 社会への公表方法

＜1＞ 大学全体

- 1) 全学的な周知方法としては、理事長が毎月1回主催する大学運営連絡協議会がある。大学運営連絡協議会は、5学部3研究科6附属病院の主たる教職員約100名で構成され、本学における教育、研究、診療等全般に係る事項について、理念・目的等との整合性の観点から協議している。協議の内容は、各部署に行きわたり、大学の方向性が共有されている。
- 2) 教職員への周知方法としては、各学部・研究科において実施しているワークショップがある。毎回、理事長あるいは学長が参加し、理念・目的等から教育・研究等に係るテーマについて検討している。その他、理事長による年頭所感、学祖祭における式辞、入職時研修等により周知されている。
- 3) 学生・大学院生には、入学式の式辞において説明されるとともに、学内広報誌にも掲載し全学的に周知している。また、各学部・研究科におけるシラバスの巻頭言において、理念等を掲載し、当該学部長、研究科長やオリエンテーション担当教員から周知している。
(資料1-14 順天堂ニュース 「2015年 No.2090 4月8日号」)
- 4) 社会的な周知方法としては、ホームページがあり「情報公開（基本情報）」の教育研究上の基礎的な情報で公表している。また、本学の理念等の醸成の過程を説明するために「順天堂の歴史」を掲載している。
(資料1-15 順天堂ホームページ 「情報公開（基本情報）」)
(資料1-16 順天堂ホームページ 「順天堂の歴史」)
- 5) 冊子『2013年 順天堂創立175年の軌跡～今、ふたたび「仁」～古き歴史と日新の科学を踏まえて』を、新入生父母、本学来校者等にも配布し、本学への理解を深めている。
(資料1-17 『2013年 順天堂創立175年の軌跡～今、ふたたび「仁」～古き歴史と日新の科学を踏まえて』)
- 6) 順天堂創立175周年を記念して、2014(平成26)年3月、『写真で見る順天堂史 175年の軌跡』(以下、「175写真集」という。)を刊行した。写真集の形式でまとめたもので、順天堂の歴代9人の堂主で時代を区分し、各時代を表す資料や写真を掲載した。日本の近代医学史と流れを共にして、本学が学是「仁」・理念「不断前進」に基づく、最先端の医療と教育・研究を通じ、社会に貢献してきたことを分かり易く伝える内容となっている。
(資料1-18 『写真で見る順天堂史 175年の軌跡』)
- 7) 2014(平成26)年4月10日、天皇皇后両陛下のご親臨を仰ぎ、有山登記念館講堂にて、「日本医学教育歴史館開館披露及び順天堂創立175周年記念式典」を挙行了。多数の来賓、教職員、関係者が参集した。創立から175年にあたり、学是「仁」・理念「不断前進」を大切に

しながら、“今、ふたたび「仁」”を掲げ、順天堂は「健康総合大学・大学院大学」として、教育・研究・医療を通じて国際レベルでの社会貢献と人材育成に邁進していくことが確認された。また、日本医学教育歴史館は、順天堂創立175周年記念事業の一環として、センチュリータワー17階に開設したもので、第28回日本医学会総会における企画展として平成23年2～4月に国立科学博物館で開催された「医学教育史展—歴史で見る・日本の医師のつくり方—」の内容を保存し更に充実させた、日本の医学教育の歴史を資料等により検証できる本邦初の常設展示施設である。同歴史館を一般公開している。

(資料1-19 順天堂だより 「2014 175周年記念式典特別号 No.275」)

〈2〉 医学部

- 1) 教職員に対しては、医学教育ワークショップ、医学教育ミニワークショップ等にて周知徹底を図っている。
- 2) 在学生に対しては、各種オリエンテーションを通じて周知徹底を図っている。
- 3) 入学志望者に対しては、募集要項や学部紹介パンフレット、進学説明会、オープンキャンパス、ホームページにおいて理念・目的・教育目標を説明している。
- 4) 保護者に対しては、入学式当日の学部懇談会において学部長から説明を行うとともに、毎年開催される保護者懇談会においても繰り返し説明を行っている。
- 5) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈3〉 スポーツ健康科学部

- 1) 教職員に対しては、年度初めの学部長挨拶時や毎年実施しているFDワークショップ時に口頭及び書面により周知徹底を図っている。
- 2) 在学生に対しては、総合講座・学年別ガイダンス等を通じて周知徹底を図っている。
- 3) 入学志望者に対しては、入試ガイド・学部案内パンフレットにも掲載し、深く理解してもらえるよう配慮している。
- 4) 保護者に対しては、入学式当日の学部懇談会において学部長から説明を行うとともに、毎年開催される保護者懇談会においても繰り返し説明を行っている。
- 5) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈4〉 医療看護学部

- 1) 教職員に対しては、年度初めの教員オリエンテーション及び毎年8月に開催される教員ワークショップにおいて学部長から周知徹底されている。
- 2) 非常勤教員に対しては、毎年10月に開催される実習指導者研修会において理念・目的・教育目標を説明している。
- 3) 在学生に対しては、年度初めの各学年のオリエンテーションにおいて、理念・目的・教育目標を繰り返し説明している。
- 4) 入学志望者に対しては、募集要項や学部紹介パンフレット、進学説明会、オープンキャンパス、ホームページにおいて理念・目的・教育目標を説明している。
- 5) 保護者に対しては、入学式当日の学部懇談会において学部長から説明を行うとともに、毎年開催される定例保護者会総会においても繰り返し説明を行っている。
- 6) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈5〉 保健看護学部

- 1) 教職員に対しては、新年度教員オリエンテーション、教授会やFD委員会など各種委員会、

第1章 理念・目的

ワークショップや新任教員 FD など機会あるごとに周知徹底を図っている。臨地実習を担当する実習指導教員（兼担・非常勤）に対しては、毎年、実習指導者研修会を開催し、理念・目的・教育目標を説明している。

- 2) 非常勤講師に対しては、随時、非常勤講師会を開催しており、本学部専任教員との意見交換を通じ、教育目標について理解を深めてもらい、授業内容にもその理解が反映されるべく努力を重ねている。
- 3) 在学生に対しては、シラバスに提示した上で、より一層の周知徹底を図るため、毎年度、新学期学年別オリエンテーションの際、学部長、教務委員長及び学生部長から説明を行い、理念を再認識するとともに、その周知徹底に努めている。
- 4) 入学志望者に対しては、ホームページ、学部パンフレット、学生募集要項にて、理念・目的・教育目標を説明している。また、広報委員会委員をはじめとする教職員による高等学校訪問、本学部学生による母校訪問により、周知徹底を図る方策も講じている。
- 5) 保護者に対しては、入学式当日の学部説明会において学部長から説明を行うとともに、毎年開催される定例保護者会総会においても繰り返し説明を行っている。
- 6) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈6〉 国際教養学部

- 1) 教職員に対しては、オリエンテーション、教授会や各種委員会、FD 研修会などを通じて周知徹底を図っている。
- 2) 非常勤講師に対しては、非常勤講師を対象とした説明会を開催し、教育目標について理解を深めてもらい、授業内容にもその理解が反映されるべく努力を重ねている。
- 3) 入学志願者に対しては、ホームページ、学部パンフレット、学生募集要項にて、理念・目的・教育目標を説明している。また、オープンキャンパスや学部説明会において学部長等から理念・目的を丁寧に説明している。
- 4) 在学生に対しては、シラバスにおいて再度提示した上で、より一層の周知徹底を図るため、新学期オリエンテーションの際に、学部長、教務委員長及び学生部長から説明を行い、理念・目的・教育目標を再認識するとともに、その周知徹底に努めている。
- 5) 保護者に対しては、入学式当日の学部説明会において学部長から説明を行っている。
- 6) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈7〉 大学院医学研究科

- 1) 教職員に対しては、医学研究科委員会、大学院検討委員会、医学教育・卒後教育（成田）ワークショップ等により周知徹底を図っている。
- 2) 在学生に対しては、シラバス、入学式及びオリエンテーションを通じて周知を行っている。
- 3) 入学希望者に対しては、進学説明会及びホームページにおいて、理念・目的を説明している。
- 4) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈8〉 大学院スポーツ健康科学研究科

- 1) 理念・目的は、年度初めの教職員に対する研究科長挨拶、学年別ガイダンス、FD ワークショップの際に、口頭及び書面により周知徹底を図っている。
- 2) 大学院案内パンフレットにも掲載し、入学志願者にも深く理解してもらえよう配慮している。
- 3) 関連学会においても可能な限り大学院紹介ブースを設けて、学内のみならず社会への周知を

図っている。

4) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

〈9〉 大学院医療看護研究科

1) 教職員に対しては、ワークショップ等の FD 教育の中で行っている。理念・目的・教育目標の周知の方法は、ホームページ、募集要項、シラバスによって行っている。

2) 在学生に対しては、オリエンテーションを行い、研究科長から理念等の説明を行っている。

3) 入学志願者に対しては、大学院説明会、学部の進学・就職説明会、病院看護職の SD 教育の機会において研究科長が大学院の教育等に関する説明を行っている。

4) 社会に対しては、ホームページ等を通じ広く公表している。

（3）大学・学部・研究科等の理念・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。

〈1〉 大学全体

1) 理事長を議長とする大学運営連絡協議会、学長を議長とする大学協議会、各学部・研究科の教授会・研究科委員会・ワークショップ等において、教育・研究・診療等に関する議事は、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点を含めて議論され、審議されている。こうしたプロセスを通して理念・目的の適切性について定期的な検証が行われており、その結果は各教育・研究・診療の実践において反映されている。自己点検・評価においても、法人及び法人部門ごとに自己点検・評価委員会を配しており、理念・目的の適切性について定期的な検証が行われ、改善サイクルが廻っている。また、教育内容の充実に伴ってディプロマポリシー・カリキュラムポリシー・アドミッションポリシーの見直しが行われる際にも、これら3つのポリシーと理念・目的の整合性・適切性について検証が行われており、その結果として、2016(平成28)年2月には大学全体の3つのポリシーが制定され、各学部・研究科においても同ポリシーの改訂作業を進めている。

2) 毎年、年初に、理事長から年頭所感として大学、附属病院の教職員に対して訓示を行っている。年頭所感では、大学、附属病院の教育・研究・診療における前年の活動に対する点検・評価及び本年の方針等が詳細に述べられており、この訓示を通して、大学の理念・目的・指針等の再確認が行われている。

(資料1-20 順天堂だより 「2016 1月号 No.284」)

〈2〉 医学部

1) 教授会や医学教育・卒後教育(成田)ワークショップ、FD推進委員会等において、教育に関する議事は、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点を含めて議論され、審議されることから、定期的な検証が行われており、その結果は教育プログラムに反映されている。ワークショップは、理事長・学長・医学部長・学生・大学院生・臨床研修医・教職員等が参加し毎年開催されている。また、2016(平成28)年度には日本医学教育評価機構(JACME)による医学教育評価基準日本版の評価受審を控えており、自己評価を通して検証を行うとともに、JACMEの講評を受け、改善を行っていく予定である。

〈3〉 スポーツ健康科学部

1) 教授会や教務委員会、カリキュラム委員会において、教育に関する議事は、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点を含めて議論され、審議されることから、定期的な検証が行われており、その結果は教育プログラムに反映されている。また、毎年開催される FD ワーク

第1章 理念・目的

ショップの際にも、定期的な検証が行われている。

〈4〉 医療看護学部

- 1) 教授会において、教育に関する議事は、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点を含めて議論され、審議されることから、定期的な検証が行われている。毎年開催される教員ワークショップにおいても、定期的な検証が行われている。

〈5〉 保健看護学部

- 1) 教授会や FD 委員会、教務委員会において、教育に関する議事は、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点を含めて議論され、審議されることから、定期的な検証が行われており、その結果は教育プログラムに反映されている。また、広報委員会や毎年開催される FD ワークショップにおいても、定期的な検証が行われている。

〈6〉 国際教養学部

- 1) 教授会や教務委員会において学部教育に関する事項を審議・検討する際や、毎年開催する FD 研修会の際にも、教育に関する議事は、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点を含めて議論され、審議されることから、定期的な検証が行われており、その結果は教育プログラムに反映されている。

〈7〉 大学院医学研究科

- 1) 医学研究科委員会、大学院検討委員会、医学教育・卒後教育（成田）ワークショップ等において、教育・研究に関する議事は、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点を含めて議論され、審議されることから、定期的な検証が行われており、その結果は教育・研究プログラムに反映されている。ワークショップは、理事長・学長・医学研究科長・教員・医学部学生・大学院生・臨床研修医・職員等が参加し毎年開催している。

〈8〉 大学院スポーツ健康科学研究科

- 1) スポーツ健康科学研究科教育・研究委員会において、教育・研究に関する議事は、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点を含めて議論され、審議されることから、定期的な検証が行われており、その結果は教育・研究プログラムに反映されている。

〈9〉 大学院医療看護学研究科

- 1) 医療看護学研究科委員会において、教育・研究に関する議事は、学是「仁」や理念・目的等との整合性の観点を含めて議論され、審議されることから、定期的な検証が行われており、その結果は教育・研究プログラムに反映されている。また、毎年開催されるワークショップや FD において、大学院の教育・研究等に対する社会的要請、学術的動向、学問的な継承性等からも検証されている。

2. 点検・評価

[基準1]

大学は、その理念に基づき、人材育成の目的、その他の教育研究上の目的を適切に設定し、公表しなければならない。

●基準1の充足状況

本学の学部・大学院においては、学是「仁」・理念「不断前進」に基づき、人材養成目的・教育目標が設定され、医学、スポーツ健康科学、看護学及び国際教養学における教育・研究に関する本学独自の指針となっている。前述のように複数の方法により、学内はもとより広く社会一般

にも公表され、定期的な検証も行われており、その結果は教育・研究・臨床の実践において反映されている。

①効果があがっている事項

＜1＞ 大学全体

- 1) 学部・研究科において、学是「仁」・理念「不断前進」を踏まえた、人材養成目的・教育目標が設定され、学生の間形成過程を大切にするとともに学生の個性を引き出し自己学習の意欲を喚起する教育が行われ、高い倫理観に基づく独創性・先端性のある研究活動が展開されている。周知の方法として、全学的には理事長が毎月1回主催する大学運営連絡協議会が有効に機能している。各学部・研究科においてはワークショップや各種委員会、学生に対してはシラバスや各種オリエンテーションにより周知徹底が図られている。保護者に対しては、保護者会総会等において説明が行われている。社会に対してはホームページ・広報誌等を通して積極的に公表し、本学への理解が深まるようにしている。

(資料1-15 順天堂ホームページ 「情報公開(基本情報)」)

- 2) 2014(平成26)年3月に刊行した「175写真集」を、学生、大学院生、教職員、保護者、その他の関係者に配付したことにより、本学の創立以来の理念・目的に基づく諸活動への理解が深められている。
- 3) 英語版ホームページにおいても、理念・目的を含む教育研究上の基本的な情報を公開できている。本学の諸活動の海外発信と留学生への情報発信の充実を目的として、2014(平成26)年3月、トップページのリニューアルを行った。

(資料1-21 順天堂ホームページ 「英語版HP」)

＜6＞ 国際教養学部

- 1) ホームページ新規開設の際に、本学公式サイトのトップページの閲覧者の3割以上がスマートフォン利用者であることに鑑み、PC版のみならずスマートフォン版対応を同時に行い、利便性の向上を図った。2015(平成27)年4月～2016(平成28)年3月の学部ホームページ(トップページ)のアクセス数58,959のうち、PCサイトのアクセス数は32,341、スマートフォンサイトへのアクセス数は26,618となり、約45%がスマートフォンサイトへのアクセスであった。2015(平成27)年7月までのスマートフォンサイトへのアクセスが約41%であったことから、閲覧者に対する利便性が向上している。

＜9＞ 大学院医療看護学研究科

- 1) 本学公式サイトのトップページの閲覧者の3割以上がスマートフォン版を利用していることから、2015(平成27)年4月よりホームページのスマートフォン版対応を行い、利便性の向上を図った。

(資料1-22 順天堂大学大学院医療看護学研究科 スマートフォン対応Webページ)

②改善すべき事項

＜2＞ 医学部

- 1) 国際レベルでの社会貢献と人材養成のため、英文によるホームページの情報発信が不十分である。

＜3＞ スポーツ健康科学部

第1章 理念・目的

1) 国際的に情報発信するためには、ホームページの英文化が不十分である。

〈4〉 医療看護学部

1) 国際的に情報発信するために、ホームページの英文化を進めているが、未だ不十分である。

〈5〉 保健看護学部

1) 国際化対応について、英語版パンフレットを作成するとともに英語版ホームページの作成が必要である。ホームページはPC用と携帯用サイトがあるが、普及の進んでいるスマートフォンへの対応が必要である。

〈6〉 国際教養学部

1) 国際化対応について、外国人留学生及び帰国子女向けの英語版パンフレットを作成するとともに英語版ホームページの作成が必要である。

3. 将来に向けた発展方策

①効果があがっている事項

〈1〉 大学全体

- 1) 社会の絶え間ない変化の中において、本学に求められる社会的ニーズを的確に把握し、求められる医学、スポーツ健康科学、看護学及び国際教養学に関する教育・研究を行っていく。理念・目的・教育目標との適切性については、毎年実施しているワークショップや各種委員会等で検討を進め、各教授会・研究科委員会にて定期的に検証していく。周知の方法として、学生に対しては、シラバスや各種オリエンテーションによる周知徹底を図るとともに、社会に対しては、ホームページ・広報誌等を通じた積極的な広報を継続していく。
- 2) 入学式、卒業式、新入職員オリエンテーション等で「175 写真集」を配付し、学生、大学院生、教職員、保護者に対する本学への理解の深耕を図る。また、本学の支援者にも配付し、本学への理解を深めるツールとして活用していく。
- 3) 日本語版ホームページの情報の体系的整理を行うとともに、英語版ホームページ独自のコンテンツ充実を図っていく。また、2013(平成25)年6月に多言語化対応として、中国語、インドネシア語、韓国語に対応したページを作成しており、公開情報の多言語化を進めていく。

〈6〉 国際教養学部

1) ホームページやパンフレット、学部紹介ムービー、学生募集要項等を通じて、人材養成の目的やその他の教育研究上の目的等を適切に公表することができており、継続して、広く社会一般に周知されるよう、表現方法等の工夫を行っていく。

〈9〉 大学院医療看護学研究科

1) スマートフォン対応のホームページに関して発信すべき情報の体系的整理を行い、特に入学志願者が必要な情報をより簡単に取得できるよう継続して更新を進めていく。

②改善すべき事項

〈2〉 医学部

1) ホームページの管理・運営については、法人広報委員会及び医学部広報委員会において審議される。英語版については、外国人・外国人留学生及び帰国子女等のターゲットに対し、効果的にアプローチできるサイト設計が必要となるため、こうしたサイトについて日本語版との整合をとりつつ、優先的に英文化を図っていく。

〈3〉 スポーツ健康科学部

- 1) ホームページの管理・運営については、法人広報委員会及びスポーツ健康科学部広報委員会において審議される。英語版については、海外の研究者、外国人及び帰国子女等のターゲットに対し、効果的にアプローチできるサイト設計が必要となるため、こうしたサイトについて日本語版との整合をとりつつ、優先的に英文化を図っていく。

〈4〉 医療看護学部

- 1) ホームページの管理・運営については、法人広報委員会及び医療看護学部広報委員会において審議される。英語版については、海外の研究者、外国人留学生等のターゲットに対し、効果的にアプローチできるサイト設計が必要となるため、こうしたサイトについて日本語版との整合をとりつつ、優先的に英文化を図っていく。

〈5〉 保健看護学部

- 1) ホームページの管理・運営については、法人広報委員会及び保健看護学部広報委員会において審議される。英語版については、海外の研究者、外国人留学生等のターゲットに対し、効果的にアプローチできるサイト設計が必要となるため、こうしたサイトについて日本語版との整合をとりつつ、優先的に英文化を図っていく。加えて英語版パンフレットを作成し、ホームページのスマートフォン対応も行っていく。

〈6〉 国際教養学部

- 1) ホームページの管理・運営については、法人広報委員会及び国際教養部広報委員会において審議される。英語版については、外国人留学生及び帰国子女等のターゲットに対し、効果的にアプローチできるサイト設計が必要となるため、こうしたサイトについて日本語版との整合をとりつつ、優先的に英文化を図っていく。2016（平成28）年度前期には学部ホームページをリニューアルする予定であるが、第一段階として教員紹介ページの充実を図り、また、その英語版ページの作成を進めている。

第 1 章 理念・目的

4. 根拠資料

| 根拠資料No. | 各部署の資料整理No. | 資料名称 |
|---------|-------------|---|
| 資料 1-1 | 総務 1-1 | 順天堂ホームページ 「本学の学是と理念」 http://www.juntendo.ac.jp/about/philosophy.html |
| 資料 1-2 | 総務 1-2 | 順天堂大学 総合パンフレット |
| 資料 1-3 | 総務 1-3 | スポーツ健康科学部 パンフレット |
| 資料 1-4 | 総務 1-4 | 医療看護学部 パンフレット |
| 資料 1-5 | 総務 1-5 | 保健看護学部 パンフレット |
| 資料 1-6 | 総務 1-6 | 国際教養学部 パンフレット |
| 資料 1-7 | 総務 1-7 | 大学院スポーツ健康科学研究科 パンフレット |
| 資料 1-8 | 総務 1-8 | 大学院医療看護学研究科 パンフレット |
| 資料 1-9 | 総務 1-9 | 順天堂大学学則 |
| 資料 1-10 | 総務 1-10 | 順天堂大学大学院学則 |
| 資料 1-11 | 院医 1-1 | 順天堂大学大学院医学研究科規程 |
| 資料 1-12 | 院ス 1-1 | 順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科規程 |
| 資料 1-13 | 院看 1-1 | 順天堂大学大学院医療看護学研究科規程 |
| 資料 1-14 | 総務 1-11 | 順天堂ニュース 「2015 年 No. 2090 4 月 8 日号」 |
| 資料 1-15 | 総務 1-12 | 順天堂ホームページ 「情報公開（基本情報）」 http://www.juntendo.ac.jp/about/information/ |
| 資料 1-16 | 総務 1-13 | 順天堂ホームページ 「順天堂の歴史」 http://www.juntendo.ac.jp/way/ |
| 資料 1-17 | 総務 1-14 | 『2013 年 順天堂創立 175 年の軌跡 ～今、ふたたび「仁」～古き歴史と日新の科学を踏まえて』 |
| 資料 1-18 | 総務 1-15 | 『写真で見る順天堂史 175 年の軌跡』 |
| 資料 1-19 | 総務 1-16 | 順天堂だより 「2014 175 周年記念式典特別号 No. 275」 |
| 資料 1-20 | 総務 1-17 | 順天堂だより 「2016 1 月号 No. 284」 |
| 資料 1-21 | 総務 1-18 | 順天堂ホームページ 「英語版 HP」 http://www.juntendo.ac.jp/english/ |
| 資料 1-22 | 院看 1-2 | 順天堂大学大学院医療看護学研究科 スマートフォン対応 Web ページ |